

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	廿日市市
-------	------

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	単元の始めに「学習の流れ」が示されており、見通しが持ちやすく経験の浅い教員でも丁寧な指導を進めることができる。 どの教材でも活用できるような汎用的な問いとなっており、多様性を意識した問いとなっている。 振り返りにつながる問いについて考えさせることができ、課題発見力や問いを正しく立てる力を育てることにもつながる。
書写	東書	単元の学習事項や学習の手順が示されていることや、他教科での学習や生活に生かすことができるような工夫がある。 左利きの鉛筆の持ち方や毛筆の用具の置き方が紙面で示されており、教材文字と書き込み欄を上下に配置して、左利きでも教材文字が隠れない配慮がなされている。
社会	東書	各学年・各単元において「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程が示されており、同じ学びのサイクルを繰り返す中で、学び方を身に付けていくことができる。 社会科で使う見方・考え方が各単元で分かりやすく示されており、探究的な学びにつなげていくことができる。
地図	帝国	「地図帳の使い方」など地図活用の基礎基本が冒頭に配置され、分かりやすく丁寧な説明がなされており、導入期の3年生にも理解しやすい内容・構成となっている。 「世界と地球儀」については、二次元コードによる動画を用いて、立体的に理解できるように工夫されている。
算数	啓林館	児童の思考の流れに沿った授業展開、単元配列となっており、既習事項を活用して学習を進めることができる。 「小数のわり算」などでは数直線だけでなく関係図を活用して考えることができるなど、児童の思考を助ける工夫がなされている。
理科	啓林館	問題解決の過程が丁寧に示されており、児童が自分で調べたり学習を進めたりすることができる。 まとめの後に「もっと知りたい」という項目があり、次の学習につながる構成となっている。 二次元コードから読み取ることができる資料の内容が精選されており、授業に活用しやすい。 「マイ・タイムライン」や「スタジアム地下の巨大な水そう」など広島素材が資料として扱われており、身近な事柄として興味・関心をもちやすい。
生活	東書	1年間を振り返ったり、新一年生を招待する活動とその振り返りが扱われており、自己の成長に気付かせる工夫が充実している。 活動に即して身に付けたい習慣や技能などをまとめた資料が掲載されている「かつどうべんりてちょう」には、観察の視点、あいさつや気持ちの伝え方なども示されており、多様な生活経験の児童が、共に学びを進めていく上で有効である。

種 目	発行者	採 択 理 由
音楽	教芸	各題材の最初のページに題材のねらいを、最後のページに振り返るまとめが掲載されており、児童がこの題材で「何を学んだのか」「何ができるようになったのか」を確認できるよう工夫されている。 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」では、具体的な歌い方が例示されているため、歌い方の工夫を考えさせやすい。
図画工作	開隆堂	題材の始めに「学習のめあて」が分かりやすく掲載されており、各題材に掲載されている二次元コードから振り返りシートを活用することができる。 全ての題材に他教科との関連が示されており、教科名だけでなくどのように関連させるのかが具体的に明記されている。
家庭	東書	「生活の課題と実践 生活を変えるチャンス！」として掲載されている全ての実践例において、実践の進め方（1 課題の設定、2 計画、3 実践、4 まとめ・発表、5 評価・改善）が示されている。また、実践例の中で設定された課題とは別の課題例や、まとめ方・発表の仕方の例が示されている。
保健	東書	自分の知識や経験に照らして自分の考えを書く活動が設定されており、言語活動の充実が図られている。特に、4つのステップで活動が構成されており、段階的に自分の考えを整理したり表現したりすることができるように工夫されている。 「性と自分らしさ」というタイトルで体の性以外にも、いろいろな性の「ものさし」があることを説明し、ジェンダーへの配慮がなされている。
英語	教出	単元の始めに見たり聞いたりする活動が設定されていたり、日本語による説明が簡潔で分かりやすく、英単語とあわせてイラストや写真が多く掲載されていたりして、英語に対して苦手意識をもっている児童も抵抗なくスムーズに学習に入りやすい工夫がされている。 書く活動については、1文ずつなぞり書きできる工夫がされており、書く活動に難しさを感じる児童への配慮がされている。
道徳	日文	問題解決学習の主題としてもいじめに関する内容が取り上げられるなど、いじめに関する内容が充実している。 役割演技や体験的な活動を取り入れながら、「自分ならどうするか」という視点で考えることができるような工夫がされている。 別冊の道徳ノートが付いており、児童は考えを整理したり振り返りをしたりしながら価値に迫ることができ、指導者は評価に活用することができる。